

日本プライマリ・ケア連合学会による

「家庭医療専門医の活動に関する実態調査」に回答した方への研究協力をお願い

このたび、我々は表記調査の結果を用いて、家庭医療専門医の診療実態を明らかにした上で、専門医から総合診療専門医においてタスクシフト等を行える可能性に関する基礎的データを収集・整理し、記述的分析を行うことを目的とする研究を実施することになりました。日本プライマリ・ケア連合学会が、協力している研究の概要と対象になる方を提示いたしますので、もしもご自身が研究対象者に含まれていると思われ、かつご自身の記録の研究使用を望まない方については研究の連絡先担当者に直接ご連絡いただければ幸いです。研究に関するご質問なども、直接研究の連絡先までご連絡ください。

研究課題名：家庭医療専門医取得者の業務状況およびタスクシフトに関する実態調査

研究実施責任者：

(氏名) 吉本 尚

(所属) 筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学 准教授

研究施設：

筑波大学 医学医療系 地域医療教育学

研究期間：2018年4月16日～2021年3月31日

研究目的：

近年、医療の複雑性への対処、地域包括ケアにおけるコーディネート役として、家庭医療専門医（総合診療医専門医）の重要性が叫ばれるようになってきましたが、これまで育成されてきた他の専門医との診療領域の重複、タスクシフト（業務の移管）・タスクシェアリング（業務の共同化）の可能性等、家庭医療専門医（総合診療専門医）の存在が我が国の医療に与える影響について、まだ十分明らかになっていません。

この研究は、日本プライマリ・ケア連合学会が家庭医療専門医を対象に実施したアンケート結果を用いて、会員番号などの個人情報を持ち離したのちに研究データとして活用し、総合診療専門医（本研究では家庭医療専門医と定義）の診療実態を明らかにした上で、専門医から総合診療専門医においてタスクシフト等を行える可能性に関する基礎的データを収集・整理し、記述的分析を行うことを目的としています。

研究の対象：

日本プライマリ・ケア連合学会による「家庭医療専門医の活動に関する実態調査」（以下、

実態調査) について回答したすべての方。

利用する情報：

実態調査における回答のうち、会員番号を除く基本情報、診療や教育および研究の実施状況、普段かかわっている診療領域、家庭医療専門医を目指した時期、家庭医療学夏期セミナーの参加経験

研究方法：

筑波大学医の倫理委員会承認後、日本プライマリ・ケア連合学会が保持している実態調査の結果について、同学会事務局で学会会員番号を切り離した上で筑波大学に提供されます。家庭医療専門医の年齢、性別、勤務場所と診療領域の幅や深さとの関連について、統計学的手法を用いて探索的に検討します。提供されたデータは筑波大学医学医療系 地域医療教育学教室にて厳重に管理します。

問い合わせ先：

筑波大学 医学医療系 地域医療教育学

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL & FAX 029-853-3101

メールアドレス research@md.tsukuba.ac.jp

研究責任者 吉本 尚

研究代表者 前野 哲博